



住みやすい町を目指して... ③⑧

「お休み処新松田」に お立ち寄りください

お休み処新松田 代表 岩永 佐知子さん(新松田在住)

介護予防生活支援サービス事業の一環として、地域包括ケアシステムの構築、高齢者生活支援サービスの充実・強化の為の新事業として町からの依頼を受け、松田町で最初の街中地域サロンを開設する事となりました。場所は新松田自治会の中にある空き店舗を利用し、地域の方々に運営ボランティアをお願いしています。平成27年6月2日に町長、社会福祉協議会会長、福祉課長、自治会役員、運営ボランティア参加で開所式が行われました。



オレンジロバを片手に(メンバーの方々)

お休み処は商店街の中の休憩所として誰もが一人で家にいないで外に出て、気軽に立ち寄っておしゃべりをしていける場所として、常に二人の当番が対応いたします。おしゃべりだけでなく、週に1回は、手を動かし手芸をする事で高齢者の方々の楽しみも増え、いつの間にか壁面は皆の作品でいっぱいになってしまいました。松田町だけでなく大井町、開成町、山北町などからも立ち寄って下さいます。

桜まつりでは、町観光協会からの依頼で、お休み処も町に来られる方々へのおもてなしの為、つるし雛を飾り多くの方々に足を止めてもらえ

るようになりました。「毎年来るのよ」と言って作品を楽しみに立ち寄って下さるリピーターの方々が増えています。終戦の日には皆さんが折ってくれた鶴をお休み処でつなぎ、たくさん

の千羽鶴を完成させ広島や長崎に送るお手伝いをしています。また、認知症予防サポーター養成講座等でオレンジリングと共にマスコットのロバを配っていますが、そのオレンジロバもお休み処のメンバーが心を込めて手作りをしています。オレンジロバを付

けている人を見かけると「これは私たちが作ったのよ」とうれしくなります。

今では週1回木曜日の手芸と月2回の健康体操、認知症予防のコグニサイズで脳トレをしたり歌ったりと笑いがたえません。

地域の方々の健康と親睦をはかり、お互いに助け合うと言う絆が出来るようになって来たと感じています。笑顔が増え、おしゃべりが楽しくなりますので一人でも多くの方々に、利用していただければと願っています。

どうぞお気軽にお立ち寄りください、お待ちしております。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしております! 第3回定例会は8月20日(火)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	議長	副議長	議長
大館	齋藤	小澤	中野	飯田	平野	由里子	由里子
秀孝	永	啓司	博	一			

議会広報広聴常任委員会

梅雨の中休みという言葉も聞かれないほど今年の梅雨は長く、農作物への影響が心配されます。さて、6月定例会も終わります。編集作業に携わっているところですが、一般質問の回答は文字数の制限があるため、質問に対する回答者の真意が本心に読者に伝わるか、非常に気になる場合があります。一般質問は内容的にも住民から重大な関心と期待を持たれるものも多くあり、「議会だより」だけでなく、議会の傍聴にもぜひ、おいでください。(飯田)

